

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

政策名	5 安全な港		24年度事業・個別施策評価結果 (今後の取り組みの方向性)			責任者	港営部 港湾管理事務所長
基本施策名	08 施設の安全性・信頼性の向上		事務事業	成果	コスト		
個別施策名	23 港湾施設の機能を維持・強化する		継続	維持	維持	連絡先 連携課	052-398-0503 港営課、工事課、港湾工事事務所
事務事業名	04 荷さばき地の管理運営(コンテナターミナルを除く)					事業 期間	昭和36年度～継続
目的	荷さばき地を適切に管理し、効率的に使用します。					根拠 法令等	名古屋港管理組合 港湾施設条例
概要	施設の使用状況を把握し、無許可使用や施設への損傷の有無に注意を払い、損傷等の不具合が生じた場合は、緊急度に応じた補修を実施します。					実施 義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
平成25年度の実施予定	①使用許可申請書の受理、②利用者調整、③現場確認を実施し、施設の使用状況の確認及び損傷箇所の発見、④港湾管理情報システムへの使用実績の入力、⑤利用者からの要望及び施設損傷等の不具合が生じた場合は、緊急度に応じた補修を行います。					関連 シート	

2 DO(実施)

平成25年度に実施した内容・結果	巡視の強化により施設の利用状況を把握することにより、申請書の未提出をなくし、また、施設の損傷の有無に注意を払い適切に管理運営をしました。							
コスト(年度)	単位	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績)	25(実績)	合計	備考(款項目節等)
事業費計	千円	7,431	22,925	16,156	42,644	8,061	97,217	(款項目節) ・金城ふ頭荷さばき地補修工事 ・弥富ふ頭荷さばき地照明設備改修工事 ・金城ふ頭荷さばき地給水管補修工事
一般会計	千円	7,431	22,925	16,156	42,644	8,061	97,217	
事業会計	千円							
その他	千円							
人員費計	千円	25,746	24,595	23,274	23,533	22,776	119,924	(算出計算式)
正規職員	人	3.00	2.90	2.70	2.70	2.60		
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		(その他)
合計	千円	33,177	47,520	39,430	66,177	30,837	217,141	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	21	22	23	24	25	中間目標	25	備考(指標の算定方法など)
施設提供率(%)	目標	100	100	100	100	100		100	(荷さばき地提供面積×日数)÷ (荷さばき地総面積×日数)
	実績	92.9	93.3	99.9	100	100			
	達成率(単年度%)	92.9	93.3	99.9	100.0	100.0			
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-			
施設利用率(%)	目標	100	100	100	100	100		100	使用料÷有効面積金額
	実績	41.0	46.0	41.0	41.3	43.8			
	達成率(単年度%)	41.0	46.0	41.0	41.3	43.8			
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-			
平成25年度までを総括した 必要性・有効性・効率性の確認		判断理由(課題の抽出)						その他特記事項	
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×		・港湾施設条例に定められた施設であり、施設所有者として適正な管理が必要です。					
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×		・船舶荷役には、荷さばき地は必要な施設であり、入港船があれば100%に近い利用があります。					
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×		・荷役の特殊性から関与する必要があります。					
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input type="checkbox"/> ○ <input checked="" type="checkbox"/> ×		・施設利用率の目標は、100%自体無理があると思われます。 ・上記の理由により、目標は達成できませんでした。 ・利用者の利便性等を考慮し、利用率を上げる努力をしました。					
	目標を達成したか?	<input type="checkbox"/> ○ <input checked="" type="checkbox"/> ×							
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×							
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×		・広範囲にわたり存在する施設を、少人数で管理運営しています。 ・平成7年の条例改定により料金改定がなされたが、暫定料率が継続されています。 ・荷役の特殊性から効率的な運営主体となっています。					
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×							
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×							

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取り組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続・統合	➡	➡	・事故防止などの安全対策上不可欠であるため。 ・在来施設(上屋・荷さばき地)の維持管理に係る事業として統合。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取り組み				
施設の効率的な運用と経年劣化に伴う定期的なメンテナンスを利用者の意見を踏まえた上で実施し、安全かつ高効率な運用を目指します。				